

茶中だより

令和5年度 第5号

教育目標

◆基本目標

将来の目標を持ち心身ともに成長する生徒

- 教え学びあう生徒
- 協力し奉仕する生徒
- 健康に生活する生徒

発行責任者 校長 名和 勝紀

2学期始業式～8月18日(金)～



学校ホームページでも生徒の活動の様子を掲載しております。カラー版の学校だよりもぜひご覧ください。
<https://www.townhamanaka.jp/chanaichu/>

自己肯定感の向上を

校長 名和 勝紀

自らの存在をかけがえのないものと肯定的に受け止める感情、それが自己肯定感です。この感情が高くなれば、少々のことではめげない意思力、そして自らの潜在的な伸びしろを意欲的に拓こうとする行動力が強くなると言われています。その向上を図るための推進力は、もちろん子供たち自身の努力ですが、この推進力に他の力が加われば、子供たちの自己肯定感は一歩加速度的に向上するのです。その力は、私たち教職員の働きかけであり、これが生徒指導の重要な役割なのです。

それでは、どのような働きかけが大切なのでしょう。その姿勢を考えると、教えとなるものがあります。それは、画家の山下清さん【日本のゴッホと言われた山下清さんは、昭和時代に活躍された画家で代表作に「花火」や「桜島」があります。1980年代には俳優の芦屋雁之助さん主演の『放浪の天才画家・山下清』が放映されました。】が通った学校八幡学園の標語「踏むな 育てよ 水そそげ」です。これは、その子らしさ、その子の伸びしろを踏まず、育てよ、そして、その子その子の成長に必要な水を注げという教えではないでしょうか。

本校でも、その子その子に寄り添った生徒指導に努め、一人一人の自己肯定感の向上に真摯に取り組んでまいります。

最後になりますが、今学期も本校の教育活動に対しまして、ご理解、ご協力の程宜しくお願いいたします。

～子どもの自己肯定感を高める方法とは？～

諸外国のなかでも、日本はとくに子どもの自己肯定感が低いといわれています。自己肯定感とは成長過程で育まれるものなので、親の言動が大きく影響します。



自己肯定感を大まかにいうと「自分を肯定する感覚」のことです。具体的には…●「自分に価値があることを分かっている」、▲「自分の力を信じられる」、■「自分は大切な存在だと知っている」という意味になります。

つまり、自己肯定感が高ければ高いほど自分を信じて、どんなことに対しても前向きに生きていけるのです。逆に自己肯定感が低いと、高い人とは真逆の状態になり、自分に自信が持てず、チャレンジ精神や積極性が失われてしまいます。

自己肯定感が低いと自分を否定する癖が付いてしまうので、1度失敗したら2度と挑戦しない、応援されても負担に感じる、成功に対してもゆがんだ考えをもつようになるなどネガティブな影響を受けてしまうのです。

～自己肯定感を高めるためにすべきこと・すべきでないこと～

とてもシンプルですが、子どものすべてを受け入れていけば基本的に自己肯定感が高まっていきます。それでは何もできない子になるのでは、悪いことを分らないままになってしまうのではという不安もあるかもしれませんが、子どものうちは怒らなくても大丈夫です。悪いことをしたらそれを指摘して注意することは必要ですが、怒って子どもを否定する必要はありません。まずは子どもの考えや行動をすべて受け入れてあげること、これが自己肯定感を高めるためにすべきことなのです。

結論からいうと、我が子の自己肯定感が高くなるか低くなるかは親の言動によって決まるといっても過言ではありません。もっと上を目指して欲しいという気持ちであっても、頑張ったことを褒めずに否定したり、将来を心配するあまり自分で何もさせなかったりすると、子どもは自分を否定するしかなくなってしまいます。自己肯定感とは子どもが成長していくうえでとても大切な感情ですから、まずは自分を認められるような言動を意識して、自己肯定感を高めてあげましょう。

令和5年度 茶内地区小中連携事業

7月24日(月)、1学期を無事に終了し、児童・生徒たちが午前授業で帰宅した後、茶内小学校と中学校の先生たちは「小中連携事業」という取り組みを行っていました。今後も継続していく事業ですので、保護者や地域の皆様にも少しだけ紹介させていただきます。

小中連携事業とは…

■小学校から中学校への進学・新しい環境下での学習や生活へ移行する段階における「生徒指導上の諸問題」の解消を目的とし、小・中の教職員間で互いに学び合い、義務教育9年間で児童生徒を育てていくため、それぞれの授業を見合ったり、合同研修等を実施したりすることで、互いの専門性を学び、教育課程及び指導方法の理解に資することが学校間連携・協体制作りにつながっていくというものです。

今後の予定…(～令和5年12月まで)

- 2学期乗り入れ授業①(6年生) 9/13(水) ●茶内中学校公開研究会 11/16(木)
- 茶内小学校参観日 11/27～30日 ●2学期乗り入れ授業②(6年生) 12/4(月)
- 第2回小中合同研修会 12/22(金)

秋のヒグマ注意特別期間

期間:令和5年9月2日(土)～10月31日(火)まで



秋のヒグマに注意して下さい。まず被害者にならない一番の方法はヒグマに遭わないことです。決して一人では野山に入らず「事前に出発情報を確認する・フンや足跡を発見したら引き返す・食べ物やゴミを持ち帰る」などの注意を十分して山菜取りなどを楽しんでください。
 もし、目撃した場合には、**浜中町役場(代表番号 62-2111)** もしくは、**最寄りの警察(駐在所など)** に連絡してください。

日	曜	9月の学校行事	下校バス 部活バス
1	金	スクールカウンセラー	16:00 17:30
2	土	神社祭 カデット全道(卓球)	
3	日	神社祭 カデット全道(卓球)	
4	月	町研9月一斉研	13:00 X
5	火	朝会	16:00 17:30
6	水	(部活動なし) パートナーティーチャー(13:00～)	16:00 X
7	木		16:00 17:30
8	金	生徒会役員選挙 中間テスト範囲発表	16:00 17:30
9	土	秋季選手権(陸上)	
10	日	秋季選手権(陸上)	
11	月	選挙管理委員会 文化祭特時①	16:00 17:30
12	火	文化祭特時②	16:00 17:30
13	水	学力テスト総合A(部活動なし) 茶小乗り入れ授業	16:00 X
14	木	文化祭特時③	16:00 17:30
15	金	文化祭特時④ スクールカウンセラー	16:00 17:30
16	土	釧路湖陵学校説明会	
17	日		
18	月	敬老の日	
19	火	朝会(任命式) 文化祭特時⑤(部活動なし)	16:00 X
20	水	文化祭特時⑥(部活動なし)	16:00 X
21	木	文化祭特時⑦(部活動なし)	16:00 X
22	金	2学期中間テスト	16:00 17:30
23	土	秋分の日	
24	日	芸術の秋	
25	月	文化祭特時⑧	16:00 17:30
26	火	文化祭特時⑨	16:00 17:30
27	水	文化祭事務局リハーサル	16:00 17:30
28	木	文化祭総練習	16:00 17:30
29	金	文化祭前日準備(部活動なし)	16:00 X
30	土		

～令和5年度 茶臼中学校における学校評価アンケート(第1回 7月実施分)集計結果と改善方策について～

●学校課題 『夢や希望の実現を目指し、向上心を持って学び続けるとともに、心豊かで、主体的に行動できる生徒の育成』

★本年度の重点 (1) 確かな学力の定着と向上(知) (2) 豊かな人間性を育む教育の推進(徳) (3) 健康安全でたくましい心身の育成(体) (4) 変化に対応し、未来を生きる力を身に付けるための取組 **【最重要項目】**



質問事項	7月平均	グラフ
1 生徒は、楽しそうに学校に通っている	教職員 2.92	
1 自分は、学校に来るのが楽しい	生徒 3.10	
1 学校に来るのが楽しい	保護者 3.21	
2 生徒は、自分で考え、判断し、行動することができている	教職員 2.92	
2 自分は、自分で考え、判断し、行動することができている	生徒 3.21	
2 お子さんは、自分で考え、判断し、行動することができている	保護者 3.04	
3 自分は、学力向上を目指し、課題と振り返りを大切に授業を 実践し、生徒の学習状況を把握している	教職員 2.91	
3 自分は、授業で「わかるようになった」「できるようになった」と実感することがある	生徒 3.29	
3 学校(先生)は生徒が学習内容を理解できるように授業工夫している	保護者 3.00	
4 自分は、授業を単元ごとのまとめごとに見通させたり、学習後の振り返りを行い学習の仕方の改善を図った	教職員 3.18	
4 授業では単元やまとめごとに見通したり、学習後の振り返りを行い、学習の仕方を改善している	生徒 3.07	
4 保護者	保護者 3.00	
5 自分は、ICT(タブレット等)を活用した授業づくりを積極的に推進している	教職員 3.25	
5 学校(先生)は、タブレットなどの機器を使い、授業が分かりやすくなるように工夫している	生徒 3.04	
5 保護者	保護者 3.04	
6 学校(教職員)は、ワークや宿題への取り組み方を工夫し(工夫させ)生徒の力の向上に結び付けている	教職員 2.83	
6 家庭学習にしっかり取り組むことができている	生徒 2.79	
6 お子さんは、ワークや宿題への取り組み方を工夫し(工夫させ)自己の力の向上に結び付けている	保護者 2.63	
7 学校(教職員)は、生徒一人一人を大切に指導を行っている	教職員 3.58	
7 先生は、困ったり悩みがあるときに、話を聞いてくれる	生徒 3.48	
7 学校は、生徒一人一人を大切にしている	保護者 3.25	
8 学校は、挨拶、思いやりの行動など集団生活の基礎となる指導をよく行っている	教職員 3.50	
8 自分は、誰にでも進んで挨拶をしている	生徒 3.31	
8 学校は挨拶、思いやりなど集団生活の指導によく取り組んでいる	保護者 3.32	
9 学校は、特別の教科「道徳」の授業の研修を深め、全教員で道徳化の充実に取り組んでいる	教職員 2.75	
9 自分は、道徳科の授業で、さまざまなことについて深く考えている	生徒 3.50	
9 保護者	保護者 3.50	

質問事項	7月平均	グラフ
10 学校は、地域の方による授業や地域で体験できる活動など地域資源を積極的に活用している	教職員 3.05	
10 学校は、地域の方による授業や地域で体験できる活動を行っている	生徒 3.31	
10 学校は地域の方による授業や地域で体験できる活動を行っている	保護者 2.96	
11 学校(先生)は、いじめのない学校・学級づくりに努力している	教職員 3.58	
11 自分は、「どんな理由があっても【いじめ】は絶対に許されないことだ」と思っている	生徒 3.86	
11 学校(先生)はいじめのない学校・学級づくりに努力している	保護者 3.22	
12 学校は、体力向上に向けた運動(体育の授業や部活動を含む)を積極的に行っている	教職員 3.33	
12 自分は、体力向上に向けて運動(体育の授業や部活動を含む)を積極的に行っている	生徒 3.48	
12 お子さんは体力向上に向けて運動(体育の授業や部活動を含む)を積極的に行っている	保護者 3.25	
13 生徒は、家庭学習の時間を確保するために、スマホやゲームの使用時間の制限ができている	教職員 1.92	
13 自分は、家庭学習の時間を確保するために、スマホやゲームの使用時間の制限ができている	生徒 2.52	
13 お子さんは家庭学習の時間を確保するために、スマホやゲームの使用時間の制限ができている	保護者 2.67	
14 生徒は、スマホ・ゲームなどの使用に関する決まりを守っている	教職員 2.00	
14 家庭では、スマホ・ゲームなどの使用に関する決まりを決めている	生徒 2.76	
14 お子さんは、携帯電話などの使い方について、マナーを意識して使っている	保護者 3.13	
15 学校は、キャリア教育の充実を通して生徒の社会的・職業的自立に向けて必要な資質能力を育成している	教職員 2.92	
15 自分は将来の目標を持ち、その実現に向けて学校生活を送っている	生徒 2.93	
15 お子さんは、将来の目標を持ち、その実現に向けて学校生活を送っている	保護者 2.38	
16 学校は「地域とともにある学校」を目指した活動を実施している(土曜授業・各種PTA活動等)	教職員 3.08	
16 学校は「地域とともにある学校」を目指した活動を実施している(土曜授業・各種PTA活動等)	生徒 3.04	
16 学校は「地域とともにある学校」を目指した活動を実施している(土曜授業・各種PTA活動等)	保護者 3.04	
17 学校は、防災・交通安全指導を計画的に進めるなど、安全配慮義務の徹底を果たしている	教職員 3.33	
17 学校(先生)は、避難訓練、登下校の交通指導など、非常時や日常の防災・安全指導を行っている	生徒 3.45	
17 家庭では、災害に備えて家族で話し合うなど、対応を進めている	保護者 2.46	
18 学校(先生)は、HPや一斉メール等のICTを活用して素早く必要な情報を発信している	教職員 3.58	
18 学校(先生)は、HPや一斉メール等のICTを活用して素早く必要な情報を発信している	生徒 3.50	
18 学校(先生)は、学校HPや一斉メールなどを活用して、素早く確実に保護者への情報発信を行っている	保護者 3.50	

結果と改善方策

<p>【3】～【6】の4項目のうち、生徒は3つの項目で平均が3.0以上です。 【6】のワークや家庭学習といった学習の定着の工夫(学習時間も含む)に課題が見られます。</p> <p>改善方策 ★授業進度と連動した家庭学習への取り組みせ方の工夫に改善を加えながら、一人ひとりが目標をもって成長を実感できる支援を進めてまいります。</p>
<p>【7】～【9】、【11】のすべての項目について生徒及び保護者とも平均3.0以上でした。</p> <p>改善方策 ★比較的高い評価を得ていますが、今後も予防的な生徒指導と生徒間の人間関係によく気を配り、いじめのない学校づくりに進めます。</p>
<p>体力向上【12】、防災安全教育【17】は、生徒、教職員の平均が3.0以上です。 家庭学習の時間を確保するためのスマホやゲームの時間制限【13】やルール【14】ができていないとの評価は、生徒、教職員の平均が3.0以下と課題がみられます。</p> <p>改善方策 ★重点上にもある家庭学習への取り組みせ方の工夫にも連動している項目です。スマホ・ゲームの時間制限などのルールを決める事が重要であると思えます。是非、夏休み前にだしたリーフレットを参考にご家庭でも話題に取り上げて頂き、望ましい使用方法についての理解を深めていただければと思います。ご協力宜しくお願いいたします。</p>
<p>「学校に来るのが楽しい」の項目【1】は生徒・保護者とも3.0以上ですが、教職員で3.0を下回っています。</p> <p>改善方策 ★生徒、および保護者とも不満足と評価する人がいないよう不満足の原因を分析し、全ての生徒が充実した学校生活を送れるよう、教職員一丸となって支援してまいります。</p>
<p>生徒、保護者ともに平均が3.0以上【2】ですが、教職員が3.0未満となっています。</p> <p>改善方策 ★自己決定の場を大切にし、生徒一人一人の実態に応じた目標設定を積み重ねるなど、より状況に適した指導・助言を行ってまいります。</p>
<p>3者ともに平均が3.0未満【15】となっており、本校の課題と捉えています。</p> <p>改善方策 ★適度な目標の設定とそれに向けた活動の継続、振り返りといった機会を積み重ねていくことで、成長を支援してまいります。特に2学期に取組が集中して行われることもあり、充実を図ってまいります。</p>
<p>家庭との連携【16】は平均3.0以上ですが、外部人材、地域連携【10】が保護者で平均3.0を下回っています。</p> <p>改善方策 ★脱コロナにより、過去にそのまま戻すのではなく、話し合いを重ねながら、実態に即したより適した取り組みを行ってまいります。</p>

保護者の皆様からのアイデアに関して

※制服からジャージに着替え、また制服に着替えるのは手間になる。休み時間に運動したりすると、制服では動きにくい。その後また部活で着替えるので、3度手間になる。せめて体育や汚れる活動のある日はジャージ登校OKにしてほしい。

●貴重なご意見ありがとうございました。今までジャージ登校に慣れていますが、高校進学など今後を見据え、必要な時にジャージに着替え、済んだらまた着替えることに慣れさせるべきではないかという考えのもとで実施してきました。今後も同様の指導を行いつつ、ジャージ登校のほうが最適である日についてはジャージ登校のお知らせをしていきたいと思います。

生徒からのアイデアに関して

※予習をしている人に対してでも、楽しいと思ってもらえる授業をする。みんなちゃんと勉強をさせられるような環境であってほしい。

●全員が向上心を持って学び続け、主体的に学習を進められるよう授業改善を進めていきます。

※全校生徒が交流できる授業や場が設けられてたら楽しくなり、かつ生徒の交流ができると思う。

●多数同じようなアイデアがありました。今後、生徒会・委員会活動を中心に異学年交流の機会を増やしていきます。

※「自分から進んで〇〇する」を一方向的に押し付けてしまうと自主性が失われるとおもうので、一旦なにも言わないでやってみた方が生徒の為になると思う。

●重点4の主体性に関わる部分となります。一方向的な押し付けとならぬよう、具体的な姿を明示しながらより状況に応じた適切な指導・助言を行ってまいります。

※何か生徒側に非があることや教師側に非があった場合は面と向かって謝るべきだとおもう。そういう当たり前をできないから関係が悪くなっていく、道徳で難しい問題に伝えることに夢中で当たり前を忘れていると思う。これらをできるという関係はよくなっていくと思う。

●まさにその通りだと思います。生徒も教師も同じ人間なので失敗は必ずあります。互いに失敗しても認め合い尊重しあうよい関係を築きあげたいと思います。